

中国軍の介入決定表

ダイスの目	結果
2～9	なし
10	介入（注1）
11	奇襲（注2）
12	大奇襲（注3）

ダイス修正（DRM）

- +1 1950年11月1日以降のターン
- +1 介入が遅延している
- 1 共産軍は1950年9月8日以前のターンに釜山橋頭堡（PPZ）を放棄している
- 1 国連軍が自軍のサドンデス勝利ライン（UN Sudden Death Line）の1つ以上のヘクスを支配している

注意

- 全ての介入部隊のユニットを中国国内の好きなヘクスに登場します。
- 共産軍プレイヤーは+4のDRMを適用してダイスを1個振ります。全ての介入部隊のユニットは中国国内のヘクスから修正後の出た目と同じ数以内のヘクスに登場します。
- 共産軍プレイヤーは+8のDRMを適用してダイスを2個振ります。全ての介入部隊のユニットは中国国内のヘクスから修正後の出た目と同じ数以内のヘクスに登場します。

介入の遅延 共産軍プレイヤーは、その後により良い結果が出ることを期待して、介入を判定するダイスの目を無視することができます。ダイスの目を無視する毎に、その後の判定に+1のダイス修正が適用されます（ダイス修正は累加します）。

介入の無視 ゲーム中に一度だけ、共産軍プレイヤーは中国軍の介入を無視することができます。この時、共産軍プレイヤーは介入部隊の中から4個の司令部と12個の歩兵師団のユニットを選び、これらを均等に鴨緑江（Yalu River）に沿った4つの補給源のあるヘクスに登場させます。これは防衛重視の中共軍の介入です。中国軍の介入部隊の司令部は介入するまで中国国内から出ることはできません。中国軍の介入部隊の歩兵は自由に移動や戦闘ができます。

配置 中国軍の介入部隊のユニットは2.5項に従って登場します。奇襲と大奇襲の場合は、登場できるヘクスが変わります。中国国内のヘクスから、奇襲ならば5～10ヘクス、大奇襲ならば10～20ヘクス離れたヘクスに登場できます。

注意：中国軍の介入決定表の判定は、介入部隊全体で判定します。ユニット毎に判定しません。

4.3 不可侵地域の無視

共産軍プレイヤーは航空ユニットの不可侵地域の制限を無視できるようになります。共産軍プレイヤーは好きなターンのどのフェイズにでも、航空ユニットの不可侵地域の無効を宣言できます。共産軍プレイヤーが宣言するまで、国連軍は航空ユニットの不可侵地域を無視できません。

不可侵地域の無効を宣言すると2.7b項の制限は無視し、国連軍の航空ユニットは自由に中国国内の航空基地を爆撃できるようになります。共産軍の航空ユニットも、国連軍のユニットや施設を爆撃できるようになります（つまり、両軍の航空ユニットは通常通り自由に任務を行えるようになります）。ただし、以下の2つの変更が適用されます。

- 1951年中のターンに増援で登場する予定の全ての共産軍の航空ユニットは、1951年1月5日ターンに登場します（不可侵地域の無効を宣言したのがこのターンより後であれば、宣言したターンに登場します）。
- ✓両軍は、航空基地をレベルアップする時に工兵は必要ありません（SPは通常通り消費します）。両軍とも新しく航空基地を建設する時は工兵が必要です。

この選択ルールは両軍プレイヤーが望めば、VPを修正することなく使うことができます。

4.4 国連軍の近接航空支援

国連軍は1951年1月1日ターンから近接航空支援できるようになります。国連軍プレイヤーは毎月1日と15日のターンの自軍の航空ユニット整備フェイズに、アメリカ軍の師団に近接航空支援する航空ユニットを割り当てることができます。この割り当ては次の自軍の航空ユニット整備フェイズまで続きます。近接航空支援できるのはFタイプまたはTタイプの航空ユニットだけです。近接航空支援は師団マーカーを航空基地の隣に置いて明示し、その航空基地にいる全ての航空ユニットは師団マーカーが置かれたアメリカ軍の師団に割り当てられます。1つの師団毎に1つの航空基地しか割り当てられませんが、1ターンにいくつでも割り当て

ることができます。

任務 アメリカ軍の師団に割り当てられた航空ユニットは、その師団に所属するユニットが観測していれば、ヒップシュートや砲爆撃できます。割り当てられた航空ユニットは、3.1b項で認められていなくてもヒップシュートできます。他の任務（鉄道妨害、迎撃、制空戦闘等）は通常のルールが適用されます。近接航空支援を終えた航空ユニットは割り当てられた航空基地に帰還します。

この選択ルールは両軍プレイヤーが望めば、VPを修正することなく使うことができます。

4.5 北朝鮮機甲部隊の再建

共産軍プレイヤーは戦車ユニットを再建できるようになります（再建不可も含む）。共産軍プレイヤーは、第105戦車師団が再建できるようになります！

この選択ルールは両軍プレイヤーが望めば、VPを修正することなく使うことができます。しかし、共産軍が大きく有利になります。

4.6 アメリカ海軍

アメリカ軍がより大規模に朝鮮戦争に関与したと想定します。CVGレイテ（Leyte）とその艦載機（F9F×1、F4U×1、AD4×1）が1950年9月29日ターンに増援で登場します。

この選択ルールは両軍プレイヤーが望めば、VPを修正することなく使うことができます。しかし、国連軍が大きく有利になります。この選択ルールは他の選択ルールと併用するのがよいでしょう。

4.7 核兵器



朝鮮戦争では核兵器が使用される可能性があります。この代償はソ連の反応によって様々です（4.7b項を参照）。核兵器の駒は一発の爆弾ではなく、数回の核攻撃を表しています。

国連軍は中国軍が介入した後であれば、核兵器をいつでも使えます。核兵器を使った場合、国連軍は直ちに航空ユニットの不可侵地域も無視できます（4.3項の手順に従います）。補給妨害（4.1項）を使っていない場合は、直ちにB-29が登場しますが、この時のB-29は核兵器の攻撃にしか使えません。補給妨害（4.1項）を使っていれば、B-29は自由に任務を行えます。

4.7a 手順 10個の核兵器マーカーを日